事例No.	1042
公表年度	R2
団体の属性	町村
団体名	岩手県矢巾町

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・新たな政策手法の確立・活用 ・EBPM

事例種類	経営戦略策定

事例内容・タイトル

経営戦略の策定

出典

地方公営企業の抜本的な改革等に係る先進・優良事例集

○ 事例名等

事例名	経営戦略の策定
団体名	岩手県矢巾町
事業名（事業区分）	水道事業

○団体及び事業の概要

行政区域内人口（人）	27,326	行政区域内面積（㎢）	67.32
供用開始年月日	昭和41年4月1日	給水人口（人）	25,948
施設利用率(%)	63.3	有収率（%）	95.7
職員数(人)	11	営業収益(千円)	676,277
営業費用(千円)	415,534		

※上記表中の「行政区域内人口」は、平成31年1月1日時点。「行政区域内面積」は、平成30年10月1日時点。それ以外の計数は、H31年3月末時点。

1．取組の背景、検討を開始した契機・導入過程

(1)取組の背景

公営企業は地域において住民の暮らしを支える重要な役割を担っているが、現在、高度経済成長期以降に急速に整備された社会資本が大量に更新時期を迎えつつあり、人口減少に伴う収入減等も見込まれる等、経営環境は厳しさを増している。

一方で、公営企業法適用や会計基準の見直し、公営企業の抜本的改革、アセットマネジメントの検討を始め、公営企業による経営実情のより一層の把握や経営健全化に係る取組も着実に進められているところである。

こうした状況下で公営企業の監督官庁である総務省においては、平成26年8月、将来にわたって安定的に事業を継続していくためには、各企業の実情に対応した中長期的な視野に立った経営の基本計画である「経営戦略」を策定し、それに基づき経営基盤（財務、組織、人材等）の強化を図ることが必要であるとの方針を示している。

(2)検討を開始した契機・導入過程

矢巾町水道事業では、平成23年度に矢巾町水道ビジョンで掲げた基本理念「大好き！水」の実現を目標に事業経営を行っている。矢巾町水道ビジョンでは「安心」「安全」「持続」「住民参加」「広域連携」をキーワードとして、今後の目指すべき水道を明らかにし、その実現に向けた具体的な政策と取り組み内容を策定している。また、平成26年度に、平成35年（令和5年）度を目標年度とする施設整備計画を策定するとともに、「安心」「安全」「持続」「住民参加」の観点を網羅した水道ビジョンとして取りまとめ、事業を進めているところである。

以上を踏まえ、矢巾町水道事業経営戦略は矢巾町上水道職員と住民が有機的に連携しながら基本理念を実現するための経営戦略を策定することを目的として、学識経験者及び水道サポーター（住民代表）で構成される検討会において協議を行い取りまとめたものである。

2．取組の具体的内容とねらい、効果

(1)取組の具体的内容とねらい

検討会は学識経験者（水道事業経営及び水道工学の精通者）3名、上下水道課指名委員（水道サポーター等）5名の計8名で構成。検討会は全4回、矢巾町における水道の現状と将来見通しを分析し、ヒト（運営体制）・モノ（投資計画）・カネ（財政計画、料金体系）・情報（広報戦略）という経営資源を明らかにし、なぜ経営戦略なのか、何のための経営戦略なのかという根本のところを深く掘り下げ、関係者間で共有したうえで計画づくりを行った。

水道サポーターに関しては平成20年に制度を新設し、公募により住民が参加、ワークショップを開催し、水道事業について学ぶとともに意見交換しながら水道使用者として率直な声を行政に届ける仕組みを構築している。町は良い情報も悪い情報も提供し、水道サポーターと行政が同じ課題意識を共有しながら問題解決に向かっていくことを目標としている。

(2)効果

ワークショップを複数回実施する中で住民と行政との信頼関係が深まり、水道サポーターの側から「水道料金の値上げが必要」との提案があった。 町の誘導ではなく住民自身が水道料金の値上げと70年サイクルでの水道管の更新を選択し、水道ビジョンの改定、水道施設整備計画の策定が行われた。

また、水道事業経営戦略の策定とともに住民側も納得した上での料金改定を進めることができた。

3. 他の自治体の参考となる点、今後の課題等

(1)他の自治体の参考となると考えられる点
　住民にとって水道はあまり意識されない存在であり、施設の耐震化や更新といった事業の効果も料金改定の必要性も理解されにくい状況であり、実効的な水道政策を推進するには住民の理解促進と合意形成が不可欠であるとの認識に至り、住民参加の手法を導入。住民との双方的なコミュニケーションを大切にし、町の誘導ではなく、住民自身が選択し合意形成を行い、施設整備計画や経営戦略を策定している。

(2)今後の課題等
　当初の取組内容を維持することが困難となっていることから、定期的な見直しを行い現状に合った内容としていく必要がある。

〇問合せ先

担当課	矢巾町上下水道課		
TEL	019-611-2562	MAIL	jougesuidouka@town.yahaba.iwate.jp